

広島市の感染症発生状況(平成 14 年度)

生 物 科 学 部

は じ め に

広島市内で発生した感染症のうち、2 類および 3 類感染症は、保健所、各区の保健センター、医療機関などとの連携の基に患者接触者や菌株等の検査を実施している。

平成 14 年度の広島市内における 2 類および 3 類感染症の発生状況を報告する。

方 法

1 感染症発生状況

市内の医療機関から保健センターへ届出された

患者の情報および当所で患者家族や接触者などの検便から分離した菌株の情報をもとに集計した。

2 血清型および毒素型

医療機関などから提供を受けた菌株について、常法により血清型、毒素型を決定した。

結 果

1 細菌性赤痢

平成 14 年度の細菌性赤痢の発生状況を表 1 に示す。4 名の届出があったが、いずれも海外渡航に

表 1 細菌性赤痢

No.	届出日	性別	年齢	住所(区名)	渡航先	血清型	備 考
1	14. 6. 2	男	32	佐伯	インドネシア	<i>S. sonnei</i> I	
2	14. 9. 21	女	21	西	フィリピン	<i>S. sonnei</i> I	
3	14. 9. 26	男	30	中	エジプト	<i>S. sonnei</i> I	
4	15. 3. 26	女	23	南	インド	<i>S. sonnei</i> I	

表 2 腸チフス

No.	届出日	性別	年齢	住所(区名)	渡航先	血清型	備 考
1	14. 8. 26	女	19	市外	ベトナム	<i>S. Typhi</i>	

表 3 腸管出血性大腸菌

No.	届出日	性別	年齢	住所	血清型	毒素型	備 考
1	14. 5. 21	男	4	東	026 H11	VT1+VT2-	
2	14. 5. 31	男	5	安佐北	0111 H-	VT1+VT2+	
3	14. 6. 25	男	11	安佐北	0111 H-	VT1+VT2+	
4	14. 6. 28	男	65	安佐北	0111 H-	VT1+VT2+	3 の祖父
5	14. 7. 12	女	1	安佐南	026 HUT	VT1+VT2-	
6	14. 7. 20	男	1	安佐北	026 HUT	VT1+VT2-	
7	14. 7. 24	女	23	安佐北	026 HUT	VT1+VT2-	6 の母
8	14. 9. 2	女	12	安佐南	0157 H7	VT1-VT2+	
9	14. 9. 13	女	1	安佐南	026 H11	VT1+VT2-	
10	14. 9. 17	女	55	安佐北	026 H11	VT1+VT2-	
11	14. 10. 14	女	15	西	0157 H7	VT1-VT2+	
12	14. 10. 17	男	23	西	0157 H7	VT1-VT2+	
13	14. 12. 4	男	3	安芸	026 H-	VT1+VT2-	
14	14. 12. 7	男	5	安芸	026 H-	VT1+VT2-	13 の兄弟
15	14. 12. 7	男	1	安芸	026 H-	VT1+VT2-	13 の兄弟
16	14. 12. 11	女	28	佐伯	0157 H7	VT1-VT2+	

よるもので、すべて *Shigella(S.) sonnei*であった。

2 腸チフス

市内の医療機関から海外渡航者による届出が 1 名あったが、広島市外の居住者であった。

3 腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況を表 3 に示す。16 名の届出があり、内訳は 026 が 9 名、0157 が 4 名、0111 が 3 名であった。

いずれも散发事例で、施設における集団発生事例はなかったが、家族内感染例が 3 例に見られた。

腸管出血性大腸菌の血清型と毒素型を表 4 にま

とめた。026 は VT1, 0157 は VT2, 0111 は VT1+VT2 であった。

表 4 腸管出血性大腸菌の血清型と毒素型

	VT1	VT2	VT1+VT2	計
026 H11	3	-	-	3
026 H-	3	-	-	3
026 HUT	3	-	-	3
0157 H7	-	4	-	4
0111 H-	-	-	3	3
計	9	4	3	16